

令和3年8月24日

美深町議会議長 南 和 博 様

総務住民常任委員会委員長 藤 原 芳 幸

所 管 事 務 調 査 報 告

本委員会は、下記の事項について閉会中に所管事務調査を行ったので、会議規則第77条の規定により報告する。

記

調 査 日 令和3年8月10日

調査事項 町営霊園（墓地）の現状について

調査内容 各地に点在する墓地の現状及び今後の課題

調査方法 現地視察、聞き取り

○町内各墓地の使用状況

名称	使用区画数	左のうち使用者不明
美深霊園	869	0
仁宇布墓地	2	0
川西墓地	7	3
玉川墓地	3	0
泉墓地	7	7
大手墓地	7	7

○美深霊園の使用状況

	使用区画数	新規数	返却数	前年比
平成28年度	896	2	6	▲4
平成29年度	888	0	8	▲8
平成30年度	884	1	5	▲4
令和元年度	877	1	8	▲7
令和2年度	869	1	9	▲8

## ○現在の墓地、霊園の状況

本町では現在、びふか葬苑に隣接した美深霊園のほか仁宇布、大手、玉川、泉、川西の5か所の墓地を管理している。美深霊園は869区画が使用されているが、約1割において訪れる方がいない状況が見受けられる。他の5か所の墓地では合計26区画が使用され、9区画で使用者の確認ができ、残り17区画は使用者が把握できない状況である。また近年、美深霊園では「墓じまい」で返却される区画もあり、使用数が減少傾向となっている。

美深霊園はびふか葬苑と一体で管理され、整備が行き届いている。他の5か所の墓地は8月のお盆時期に合わせ敷地内の草刈り業務を完了し、墓参者が訪れている状況である。

## ○調査のまとめ

美深霊園は使用者も多く管理状況は良いものの、放置されつつあるお墓が使用者不明とならないよう、連絡の取れる体制作りが必要である。また近隣には合同墓を設置した自治体もあり、本町は今のところ設置する計画はないものの、近年お墓に対する様々な考え方もあり、今後、霊園の在り方を探るうえでも町民の意向調査等を行い研究してみるのも必要と思われる。

郊外の墓地は使用実態があるものの、使用者と連絡が取れないものが多く、今後の維持管理の方針を決めていく上でも、使用者不明の解消を目指すことが重要である。また長い年月の経過から周辺の木々も大きく成長し、お墓周辺の景観も変化している。区画を整理し景観を保つ工夫も必要であるとともに、お供え物が野生動物の餌やゴミとならないよう、持ち帰りの注意喚起をするべきである。

それぞれの墓地は、開拓時からの長い歴史と共に利用されており、地域住民にとっても大切な場所となっているため、地域の理解の下での維持管理が大切である。現在、使用者に関する情報収集作業の取り組みも始めており、各墓地の状況改善が進むことを期待する。